

歌のよしをも知らむ」とせ。」口のせかのためしなめ。」口説大納言  
 ト、子の中納言の「お詫び赤染」、「わかれかまわれぬ」と、尋ね申された  
 れば、「一口正直ぶべき歌よみあひゆ。」お詫びは「ひまほそなけれ事の八重  
 ふせ」、じよある者なり。「ひとやねりひなき歌よみなし。」とあつてねば、中納  
 言せ、「あやこせと思ひて、お詫びが歌をす」「まぬかに照ひせ」の謡の皿と  
 申す歌をいふ。よき歌とは、世の人申すめれ。」と申されれば、「それ」  
 人のえ知らぬ」とを証ふよ。『語きより暗き道に』と聞くる句せ、「法華経」  
 文には「あひすや」。されば、「いかに思ひよつけむ」。未の「ざるか  
 に照ひせ」とこくね句せ。本にひかされて、やあくよおれにけむ。『いやし』  
 人を「といひて、ひましきなけれ」とこくね句せ。凡天の願ひよみぐれに  
 あひす。いみじきいとなつ。」ひや申されば。

**問題** 全ての問について、問題に特に指定がなくとも極力漢字で答へ。助動詞、助詞、反語、敬語を正確に訳す。」と  
 一傍線部「知らむ」とせ」を口語訳せよ。また、助動詞を抜き出し、終止形と文法的意味を答へよ。

二傍線部「ひとのほかのためしなめり」を助動詞に注意して口語訳せよ。また、「なめり」について、文法的説明をせよ。

三傍線部「四条大納言」及び「中納言」について、の一人の関係はどうあると推測されるか、答へよ。

四傍線部「こつれかまされる」を口語訳せよ。

五傍線部「尋ね申されければ」を品詞分解せよ。また、口語訳せよ。

六傍線部「一口に言ふべき歌よみにあひす」を助動詞に注意して口語訳せよ。

七傍線部「じよある者なり」を口語訳せよ。

八傍線部「ことやむ」となき歌よみなり」を口語訳せよ。

九傍線部「ありければ」を助動詞・助詞に注意して口語訳せよ。

十傍線部「あやしげに思ひて」を口語訳せよ。

十一傍線部「式部が歌をば」を口語訳せよ。また、「お詫び」とあるが、具体的に誰の「ひ」か、漢字で答へよ。

十二傍線部「世の人申すめれ」を助動詞に注意して口語訳せよ。また、「未」の反対語は何か、文中を参照して答へよ。

十三傍線部「人のえ知らぬ」とを証ふよ。」を口語訳せよ。

十四傍線部「法華経の文にはあひすや」を口語訳せよ。

十五傍線部「されば」にかに思ひよつけむともおほせば」を口語訳せよ。また、助動詞を全て抜き出し、その文法的意味をそれぞれ答へよ。

十六傍線部「未」とあるが、何の「ひ」か。七字以内で答へよ。また、「未」の反対語は何か、文中を参照して答へよ。

十七傍線部「やすくよまれにけむ」を助動詞に注意して口語訳せよ。

十八傍線部「凡夫」の読みを答へよ。また、意味を答へよ。

十九傍線部「思ひよるべきにあひす」を助動詞に注意して口語訳せよ。また、助動詞を全て抜き出し、その文法的意味をそれぞれ答へよ。

二十本文中から係り結びを全て抜き出せ。

二十一本文中から全ての敬語表現を抜き出せ。それぞれ尊敬の助動詞、謙譲の動詞、謙譲の補助動詞に分類せよ。

**解答** 「だ」「である」は互換性あり。口語訳は動詞・助動詞等が正確に訳せた上で、必ずしも左記の通りでなくともよい。

一 訳 =「知る」じうぶつない」とせ」 助動詞 =「む」 終止形 =「む」 意味 =「婉曲」

二 訳 =「格別のことである よつた」

なめり =「断定の助動詞『なり』連体形『なり』+婉曲の助動詞『めり』からなる『なめり』の撥音便『なめり』の『ん』が表記されない形。(マ)アつぱ」とか思つかも知れないが基本事項。」三 関係 =「父が(四条)大納言で息子が中納言」

(親子)「父と息子」等 同義可。」四 訳 =「じうぶらが優れているか」(疑問で訳せてこね)と。

五 品詞分解 =「ナ行下」段活用動詞『尋ね』連用形『尋ね』+サ行四段活用謙譲の補助動詞『申す』未然形『申れ』+

下一段型尊敬の助動詞『る』連用形『れ』+U変型過去の助動詞『けり』已然形『けれ』+接続助詞(偶然条件)『は』  
 (品詞分解においては、品詞、活用形、活用の型、終止形を答える) 訳 =「お尋ね申しこそいた」どじ」

六 訳 =「一言で言える歌人ではない」(べき)は適当にも可能にもとれるので、「言つてよ」も可。」

七 訳 =「と詠んだ者だ」(断定「なり」)八 訳 =「たいへん素晴らしい歌人である」(歌人だ)も可。」

九 訳 =「言つた」ので(原因・理由の「せ」、「答えたので」も可。)十 訳 =「不思議に思つて」(あやし=不思議だ。)

十一 訳 =「式部の歌では」(歌に關つてせ)等 同義可。」人名 =「和泉式部」十一 訳 =「世間の人は申しこるよつた」

「めれ」=「婉曲の助動詞、已然形、めり」十二 訳 =「人々は理解できないことを言つてこるのだよ」

助動詞 =「けむ」=過去の因縁推量・ず」=「打消」十六 未 =「(和歌の)下の句」反対語 =「本」

十七 訳 =「たやすく詠まれたのだから」(過原推の「けむ」)十八 読み =「ほんぶ」意味 =「平凡(=普通の)人」

十九 訳 =「思いつける事ではない」(いの「べし」は可能で訳す。)二十 係り結び =「じんべいめれ」(六行四)・「められ」(六行四)・「められ」(十一行四)」

二 敬語指摘・尊敬の助動詞 =「れ」(六行四)・「れ」(六行四)・「れ」(十一行四)」

謙譲の動詞 =「申す」(六行四上)・「申す」(六行四中)・「申す」(六行四下)・「申す」(十一行四)」謙譲の補助動詞 =「申せ」(十一行四)」

# 歌のよしあし 本文 口語訳

赤シートを使って脚記・確認用に利用して下さい。

各傍線は、それぞれ 敬語(動詞) 敬語(補助動詞) 助動詞 助詞など(重要語句等) を表す

和歌のよしあしを知るところ「よしあし」と「格別の」ことである よつた。

歌のよしあしをも知りむ」とは、いとのほかのためしなめり。

四条大納言が「子の中納言が『和泉式部と赤染衛門では、どちらが(歌人として)優れているか』とも尋ね申し上げなさう。たゞこの四条大納言は、子の中納言の「式部と赤染どにつれかまれねば」と尋ね申されければ、(大納言が)「一言で言える歌人ではない。式部は『ひまこそなけれ葦の八重ふき』と詠んだ者である。

「一口元言ふべき歌よみにあらず。式部は『ひまこそなけれ葦の八重ふき』とよめる者なり。たいへん素晴らしい歌人である」と言つたので 中納言は 不思議に思ひて

いとやむいとなき歌よみなり。」とありければ、中納言は あやしげに思ひて

「式部の歌では『まゆかに照らせ山の端の口』と申す歌が、よい歌と世の中の人は申していふだ。」

「式部が歌をば『まゆかに照らせ山の端の口』と申す歌をいふべし。よき歌とせば、世の人申すめれ。」

と申しながら「そこだよ、人々は分からぬ」とを言つのだよ。『暗きよつ暗き道にて』と詠んだ句は

と申されければ、「それで、人のえ知りぬ」とを言ふよ。『暗れよつ暗き道にて』と詠くの句は

法華経の一文(の証用)ではないか。だから、むづやつて思つていたのだろとは思われない。

下の句の『はるかに照らせ』と詠んだ句は、上の句に引き出されて、たやすく詠まれたのだろ。『いやとも人を』と詠んで

末の『はるかに照らせ』とこへる句は、本にひかされて、やすくよまれにけむ。『いやとも人を』とひて、

『ひまこそなけれ』と詠んだ歌は、並みの人間の思いつける事ではない。素晴らしい事である。」と申しながら「そつだ。

『ひまこそなけれ』といへる言葉は、凡夫の思ひよるぐさにあります。いみじきいとなり。」と申されける。

## 考慮すべき人物関係他

四条大納言=藤原公任 中納言定頼の父 歌人・歌学者 漢詩・和歌・算弦に優れた者をそれぞれの船に乗せる場面で、道長が公任にだけ、  
「の船に乗るかと尋ねた」「船の才」の話は有名。ここを知りずには古典はやつてられない。『和漢朗詠集』編。ことじに藤原佐理。  
子の中納言=藤原定頼 公任の子。当然ながら本文に於いて身分は『大納言(公任) 中納言(定頼) 筆者(俊頼)』の順。  
式部=和泉式部 王朝時代第一級の女流歌人 小式部内侍の母 著書に「和泉式部口記」(ただし藤原俊成の著作との説あり)。  
赤染=赤染衛門 石川五右衛門(ルパン)やドリスモンの影響で男だと思われる事が多い非運の女流歌人 和泉式部とは女房仲間で互いに  
歌を詠み合つなど親しかつたりしい。『采花物語』の正編の作者か。紫式部は和泉式部をボロクソに批判し、赤染をいたため。  
俊頼=源俊頼 歌人 藤原俊成・定家父子ら新古今歌人に多大な影響を『金葉和歌集』の撰者 家集に『散木奇歌集』。

## 読解に際して

今回の单元に於いて重要なのは『婉曲の助動詞』である「む」及び「めり」、『過去の原因推量の助動詞』である「けむ」の「よしあし」とと思われます。敬語表現も若千出てますが読み解難度はさほど高くはない。しかし読み解難度はさほど高くはない。『漢朗詠集』編。ことじに藤原佐理。説明は割愛します。尚、毎度毎度登場して意外と無視できない単語に『確定条件の接続助詞』の「ば」があります。未然形接続か已然形接続かによって仮定条件・確定条件に変わり得ます。また、確定条件の中でも、文脈により「原因・理由の『ば』」「偶然条件の『ば』」「恒時条件の『ば』」と解釈が変わってきます。個人的には、この「ば」は古語解難に関してかなり重要なポジションにあるのでばと思つています。

余計なお世話ですが、参考までに私が文法書に於いて開く頻度の高いページを挙げておこう

- 一 表紙裏の見開き 助動詞の一覧表。かなり頻繁に。
- 二 九七ページ。接続助詞「ば」の用法。その都度
- 三 五八ページ。推量の助動詞に関する基本事項。思い出せない時に
- 四 裏表紙裏の見開き。助動詞以外の一通りの語の活用及び意味・用法の一覧。用言の活用の確認。
- 五 一〇八ページ。係り結びの解説時、及び忘れた時に。